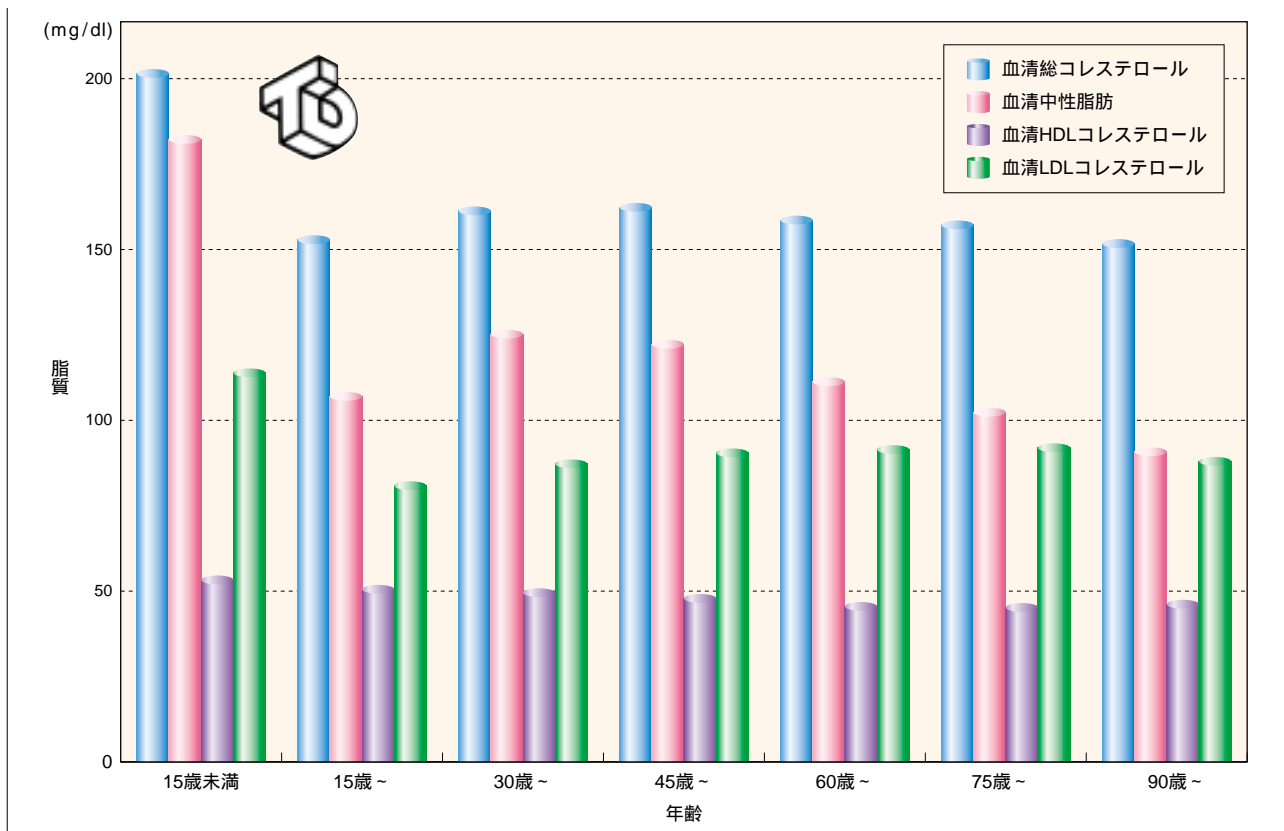


1) 血清各脂質値

今年の調査では、血清各脂質値、透析前血清カルシウム、リン、インタクトPTH濃度、透析液カルシウム濃度、血清CRP濃度および抗凝固薬の種類と使用量について調査しました。以下ではこれらの集計結果について解説します。

(1) 年齢別各脂質平均値 (図表21)



解説

血清脂質の調査では食事と採血時刻を考慮する必要があります。今回は食後時間を検討しましたが、結果は次ページ下表のようにいずれの脂質も食後時間による変動は顕著でなく、今回の集計には食後時間によらず全例を用いることとしました。また、今回は抗高脂血症薬服用に関わらず、現状における脂質の状態を示します。

LDLコレステロールはFriedewaldの式 [総コレステロール - HDLコレステロール - (中性脂肪 / 5)] を用いて計算しましたが、中性脂肪が400mg/dl以上のもの、計算結果が負の値となるものは除外しています。

年齢と脂質との関係を見ると、15歳未満がいずれの脂質も最も高値を示し、中性脂肪はその後30歳以上45歳未満をピークに年齢とともに低値、血清総コレステロールおよび血清HDLコレステロールは全体を通して年齢とともに低値となる傾向があります。